

EVENT REPORTS

3/3
[SUN]

春の宿場まつり、雛めぐり
10:00 ~ 16:00
越谷駅東口旧日光街道沿い及びその周辺



第7回目となる春の宿場まつりが3/3(日)に行われました。今年も歩行者天国の本町側を中心に、お雛様が飾られた各店舗やイベント会場が賑わいました。残念ながら朝から雨模様となってしまう、出来なくなってしまったイベントもありましたが、その中でも雛めぐりを楽しむ人々が後をたちませんでした。来年は更なる賑わいを目指して、取り組んでいきたいと思っております。

UPCOMING EVENT

5/12
[SUN]

あちゃあちゃ vol.5
10:30 ~ 15:30
越谷駅東口ロータリー・越谷ツインシティ A2F



越谷駅前の広場を使ったこだわりマルシェ「あちゃあちゃ」vol5が今年も開催されます。櫛組では3回目から木組みのジャングルジムで参加させていただいております。今年もメイン会場のど真ん中で子供達と一緒にジャングルジムづくりを楽しみたいと思います。当日は越谷駅前でお待ちしております！

たくさんのご参加、お待ちしております！！



お知らせ

こしがやサイクルカフェ

越谷市観光協会から発行されている「Koshigaya Cycle Cafe」に弊社でお手伝いさせていただいた、2つのカフェ (cafe803 minette) が掲載されました。越谷は平坦な地形な為、自転車での移動がとっても便利です。是非このマップを片手に越谷カフェめぐりを楽しんでください。



サイクリングも気持ちいい季節になりました♪



越ヶ谷宿を考える会リーフレット改訂

畔上が代表を務めている「旧日光街道・越ヶ谷宿を考える会」のリーフレットが改訂されました。今年で8年目を迎えるこの会ですが、木下半助商店やはかり屋が登録有形文化財になったのも、この会の活動がきっかけです。地道にイベントなどを行う一方で建物を残す活動もようやく形になってきました。



東洋大学インターン 筑ちゃん紹介！



東洋大学ライフデザイン学部3年の筑あゆみです。現在櫛組のインターンシップとして、主に「はかり屋」のお手伝いを通してまちづくりの実践を学んでいます。大学で建築やデザインを学びましたが、実践的に生かした経験がありませんでした。そんな時、はかり屋のパネル作成の機会を与えていただきました。ここまで道のりを知ったら、きっとはかり屋を見る視点が変わると思っています。是非私と同じ若い世代の人にも見て欲しいです。

あとがき

今号も最後までお読みいただきありがとうございます。植物たちの新しい芽が次々と顔を出し、春の訪れを直接感じるようになりました。下の子供も新年度から小学生に上がります。新しい芽がどんどん成長する季節、私たちもしっかりと成長を感じられる仕事を続けて参ります。

順平

けやきREN

KEYAKI OFFICIAL MAGAZINE

Vol. 22

2019
SPRING

順声平語

【第九回】 恩師の著書から自分の仕事を振り返る

懐かしい写真が出てきました～
先生に教わった事が
今の活動に繋がっています！



今年の2月、大学の恩師が自らの傘寿の記念に合わせて一冊の本を出版されました。タイトルは「生業の生態系の保全 その建築思想と実践」一体何を言っているのか分からないタイトルだと思いますが(笑)実は私の建築思想、現在の仕事への取り組み方の原点になっているのがこのタイトルにあります。

私の恩師こと三井所清典先生は、東京大学建築学科、内田研究室の出身です。

京都駅を設計した原広司さんや現在建設中の国立競技場の設計者である隈研吾さんなど、有名な建築家を輩出している研究室出身です。今年の2月に80歳をお迎えになり、現在は芝浦工業大学の名誉教授であり、設計事務所の所長であり、全国建築士会連合会の会長までこなす、衰え知らずの超人です。

先生が「生業の生態系」という言葉を使い始めたのは、恐らく私が大学院で学んでいた2000年頃ではないかと思います。実はこの本のタイトルには枕詞がついています。それは「地域力が育む木造建築とまちづくり」というものです。地域における多くの建築は、発注者や設計者、施工者、材料供給者までを含めたつ

くり手との関係の中で生まれ、その仕組みが地域社会の中で健全に存在する事が、地域経済だけでなく、資源の循環や技術の継承にも繋がっているという事です。

地方創生という言葉をよく耳にするようになりました。これを本気で実行するためには、「生業の生態系」が成熟しなければ成り立ちません。技術や資源が失われ、枯渇しつつある現代において、建築をつくっていく我々の役割は挑戦の連続であり、大きな流れをつくる必要があります。

今回はやけに堅い話になってしまいましたが、これからも恩師の教えを信じ、建築と建築を取り巻く環境の整備に取り組みたいと思います。

